広報資料 (京都市政・青灯・近畿電鉄同時)

> 阪急電鉄株式会社 広報部06-6373-5092 京都市都市計画局 まち再生・創造推進室 075-222-3503

# 阪急電鉄×京都市による、夏休み特別企画 TauT 阪急洛西口で「洛西高架下こども大学~らくさい生き物ラボ~」を開催 ~ 川遊び体験やオオサンショウウオ等の観察を通じて、環境保全について遊びながら学ぼう ~



阪急電鉄と京都市では、阪急京都線洛西口駅付近の高架下にある TauT 阪急洛西口において、西京区エリアの活性化に向けたまちづくりに取り組んでいます。

この度、阪急電鉄と京都市が、同施設にある京都市交流促進・まちづくりプラザ及び西京 区内の小畑川において、夏休みの小・中学生を対象とした特別企画「洛西高架下こども大学 ~らくさい生き物ラボ~」を開催しますので、お知らせします。

本イベントは、小畑川での川遊び体験や、オオサンショウウオ(特別天然記念物)等の生き物の観察、生物多様性・環境保全に関する講義を通じて、環境問題について自ら考え、行動し、持続可能な社会を構築する担い手づくりを目指す講座です。

洛西の身近な自然をとことん楽しめるイベントですので、奮って御参加ください!

## 1 開催日時・集合場所

(1) 開催日時

令和5年7月29日(土)、30日(日)、8月5日(土)、6日(日)時間はいずれも午前9時~午後3時(正午~午後1時は休憩) ※昼食については参加者各自で御用意ください。

(2) 集合場所

TauT 阪急洛西口 エントランススペース

所 在 地 : 京都市西京区川島五反長町18-2 (「TauT 阪急洛西口」内)

アクセス : 阪急京都線「洛西口駅」から徒歩1.5分

JR京都線「桂川駅」から徒歩20分

※施設専用の駐車場がないため、可能な限り公共交通機関を御利用ください。

#### 2 内容

第一部:「川に入ってガサガサしてみよう~!」(小畑川)

洛西ニュータウンを流れる小畑川で、タモ網を使って生き物を採取する川遊びをします。また、正しい川遊びの仕方も学びます。

第二部:「生き物観察会」(京都市交流促進・まちづくりプラザ)

特別天然記念物のオオサンショウウオの生態を学び、自然について考えます。また、 小畑川で採取した生き物の観察やスケッチを通じて、研究の楽しさを学びます。 本物のオオサンショウウオも登場!

第三部: 「自然を守るために私たちにできること」(京都市交流促進・まちづくりプラザ) 「きょうと生物多様性センター」の職員や専門家から、京都の自然と私たちの暮らし とのつながりを学び、自然を守るために私たちに何ができるのか考えます。

#### 3 対象者

小学生 • 中学生

※小学生は保護者の同伴が必要です。

#### 4 参加費

小学生・中学生: 5,000円(税込) 小学生の保護者: 1,000円(税込) ※洛西口~小畑川のバス代が含まれています。

#### 5 定員

各回20名

## 6 応募方法・募集期間

(1) 応募方法

TauT 阪急洛西口の公式ウェブサイトからお申込みください。

(URL): https://www.taut-rakusaiguchi.com/news/ikimono7-29-30-8-5-6/

(2) 募集期間

令和5年6月15日(木)~7月28日(金)

## 7 お客様からのお問い合わせ先

・ 株式会社エキ・リテール・サービス阪急阪神 TauT 阪急洛西口事業部 電話:06-6373-5369 (平日 午前9時~午後5時)

・ 京都市都市計画局 まち再生・創造推進室

電話: 075-222-3503 (平日 午前9時~午後5時)



## 【参考】

■プログラム(予定)について ※雨天の場合など、安全確保のため変更となる場合があります。

9:00 受付開始

9:15 小畑川へバス移動

9:30 第一部「川に入ってガサガサしてみよう~!」

※班に分かれて遊びます。 (こども5人で1班 合計4班)

※保護者の方は、こどもと一緒に参加していただきます。

11:30 洛西口へバス移動

12:00 昼食

※参加者各自で御用意ください。

13:00 第二部「生き物観察会」

14:30 第三部「自然を守るために私たちにできること」

15:00 終了

# ■「洛西高架下こども大学」について

阪急電鉄では、地域交流の促進を目的として、人が行き交う高架下を大学のキャンパスに見立てて、誰もが自由に参加できるセミナーや交流型イベントを実施する「洛西高架下大学」を平成31年2月に開始しました。そこから派生した「洛西高架下こども大学」は、自然環境などをテーマとした、こどもが楽しく学べるワークショップ(令和3年スタート)です。

日々の暮らしをより豊かにすることを目指して、これからも地域のこどもたちが、身近な課題について考えるきっかけを提供してまいります。